

LFYAMAHA ラベルフィーダー 取扱説明書

対応機種 LFYAMAHA-32-YS・LFYAMAHA-60-YS・LFYAMAHA-100-YS・LFYAMAHA-60-YV・LFYAMAHA-100-YV

お問い合わせ

Tel / WeChat +86 134 2139 1163

Email sales@baxida-tech.com

重要な注意事項

- 1、供給機を直射日光やその他の熱源に直接さらさないでください;
- 2、本機の動作電圧は24V、電流は2Aより大きい必要があり、電力の大きい電気設備と同じ電源プラグに接続しないでください。
- 3、乾燥した/柔らかい布（揮発性物質を含まないもの）で供給機を拭いてください;
- 4、不適切な安定性、溶剤、酸・アルカリ、水浸しまたは湿気のある環境への接触や暴露を避けてください;
- 5、虫食いやネズミ咬み、異物の侵入などによる製品または部品（外殻、LEDスクリーン、インターフェース、元器部品回路など）の破碎、錆び、損傷などを避けてください。
- 6、当社が認可した機関または人員以外による設置、修理、追加または分解を行わないでください;

輸送及び受領確認

お客様が受け取る貨物が完全であることを確保するため、貨物受領時に運送業者と対面で開梱検収し、製品に輸送損傷や欠品がないことを確認してから署名してください。輸送損傷や欠品がある場合は、署名しないでください。貨物、貨物包装材料及び付属品をそのままの状態で保管し、直ちに当社にご連絡ください。受領当日に需要者が受け取った製品に異議がない場合、検収合格とみなし、当社は貨物損傷の責任を負いません。（契約に別段の定めがある場合を除く）

供給機概要

(そのうちの1機種を例として紹介します。機種により一部構造が異なります。具体的には実物を基
てください)



供給機の適用範囲

3.1.1 紙製ラベルであれFPC補強鋼片、各種マイラー粘着テープ、発泡材、防塵メッシュ、高温粘着テープなどであれ、各種巻式物料はラベルフィーダーを使用できます。

3.1.2 物料サイズの互換性が高く、1台のラベルフィーダーで最大サイズ以内のすべてのサイズの物料に対応でき、同時に単列または多列をサポートし、機械の使用効益を最大限に実現します。

3.1.3 巻式供給機は主に包装、3C、FPC、電子業界に応用されています；

3.1.4 別途ラベリングマシンを購入する必要がなく、ラベルフィーダーとチップマウンターを組み合わせることで貼付作業を実現できます。

ラベルフィーダーのテープ通し方法

料巻はラベル取付軸套から始まり、巻線軸を経由し、擋圈で料巻を限位して左右の揺れを防止する必要があります；

ラベルガイド幅制限スライダー（六角レンチで内部の機米ネジを緩め、料巻の幅に応じてガイドブロックを適切な位置に移動）を通し、押え片を通過させます（押え片の4つの機米ネジを緩めたり締めたりして、ラベルの厚さに応じて高さを調節できます）；

押料蓋レバーを下に押し、押料蓋を開け、料巻を押料蓋と主動軸の間に挟み、押料蓋を押してラベルを締め付けます；

最後に、空料巻は廃料テープ回収軸套を通じて回収されます。

★注意事項：

テープの角度方向は正直に保つ必要があります；

剥離しにくい小さなラベルは、剥離ブレードの方向を変更し、角度のより小さい面に換えて使用できます。

ラベルフィーダーの光ファイバーセンサー操作説明

一、光ファイバーセンサー外観

①ラベルが光ファイバーポイント上にあるとき、光ファイバーアンプは対応する感知値を生成します。

②光ファイバー動作設定値 > 光ファイバー感知値で且つランプ点灯時、有料を検出；光ファイバー動作設定値 < 光ファイバー感知値、無料状態。図中の200は光ファイバー動作設定値であり、動作設定値は無料状態より200大きければよいです。

光ファイバーセンサー

動作設定値

光ファイバー感知値

二、ボタン説明

光ファイバー動作設定値を大きくする。光ファイバー動作設定値を小さくする。

三、使用説明

ラベルフィーダーのディスプレイ操作説明

一、ディスプレイ使用説明

- ①動作モード 自動：生産モード；手動：生産停止、上料、換料に使用；
- ②供給位置：供給距離を調節し、ラベルの大きさに応じて適切な送り距離を調節します。（ラベルが上に反ったり送りすぎの場合、供給位置が大きすぎます。ラベルが送り不到位の場合、供給位置を増やせます）；
- ③供給速度：ラベル剥離が完了した状況で、速度を上げるか下げると、供給位置を相応に微調整する必要があります。貼片速度を追求しない場合、30-50に設定すればよく、供給の安定性を保ちます；
- ④供給遅延：1つの料を送り終えた後、しばらくしてから次の料を送ります。単位は0.1s（マニピュレータの取り料が遅く、送標速度が速い場合、遅延を設定できます）；
- ⑤生産数量：ラベルが1列送出されるごとのカウント、長押しでクリアして再カウントできます。

：手動モードで、ラベルを1回送ります

：手動モードで、料巻が少し後退します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に減少します。

：手動モードで、料巻が少し前進します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に増加します。

：パラメータ設定、中国語/英語形式の設定が可能、ラベリングマシンとの通信信号を設定できます（信号線の接続が必要）。

アフターサービス保証条例

製品の保証期間は購入日から計算し、保証期間は1年間です。

保証期間内に、製品自体の品質により正常に動作しない場合、当社は無償の修理サービスを提供します。
以下の場合、無償修理は提供しません：

- 一、製品または部品が相応の保証期間を超えている；
- 二、誤ったまたは不適切な使用、保守または保管による故障または損傷、例えば：不適切な運搬；製品の合理的な予期される用途に従わない使用；外部デバイスの不適切な抜き差し；落下または不適切な外力による衝撃・押圧；
- 三、不適切な温度、溶剤、酸・アルカリ、水浸しまたは湿気のある環境への接触または暴露；または異物の侵入による製品または部品の破砕、錆び、損傷など
- 四、当社が認可した機関または人員以外による設置、修理、変更、追加または取り外しによって生じた故障または損傷；
- 五、不可抗力または偶発事件による故障または損傷。

保証期間満了後および無償保証条例に含まれない設備についても、ユーザーは引き続き当社の修理サービスを受けることができますが、状況に応じて部品及び修理費用を申し受けます。

製品出荷前に、弊社は貴社が提供されたサンプルに基づいてパラメータを調整します。通常、製品を受け取った後、電源を接続すれば使用できます。操作方法が不明な場合は、弊社技術者とオンラインでリモート操作指導を行います。部品の交換が必要な場合は、製品を物流で返送していただく必要があります。

私たちの使命

電子業界の自動化分野において以下を解決することに取り組んでいます：

製品の研究開発過程における「革新追求」の技術問題；

製品の工業生産における「安定動作」の技術問題；

製品の製造過程における「持続品質」の管理問題；

製品の使用過程における「効率的責任」のサービス問題；

お客様製品の「総合コスト」を継続的に低減する市場問題。